

中国ソフトウェアパークの現状と動向

～ソフトウェア市場におけるインド・ベトナム・
フィリピンとの比較を通して～

2005年7月27日

(財)国際情報化協力センター 調査研究部 研究員
早稲田大学 アジアIT戦略研究所 客員研究員

浅井知子

asai@net.cicc.or.jp

目次

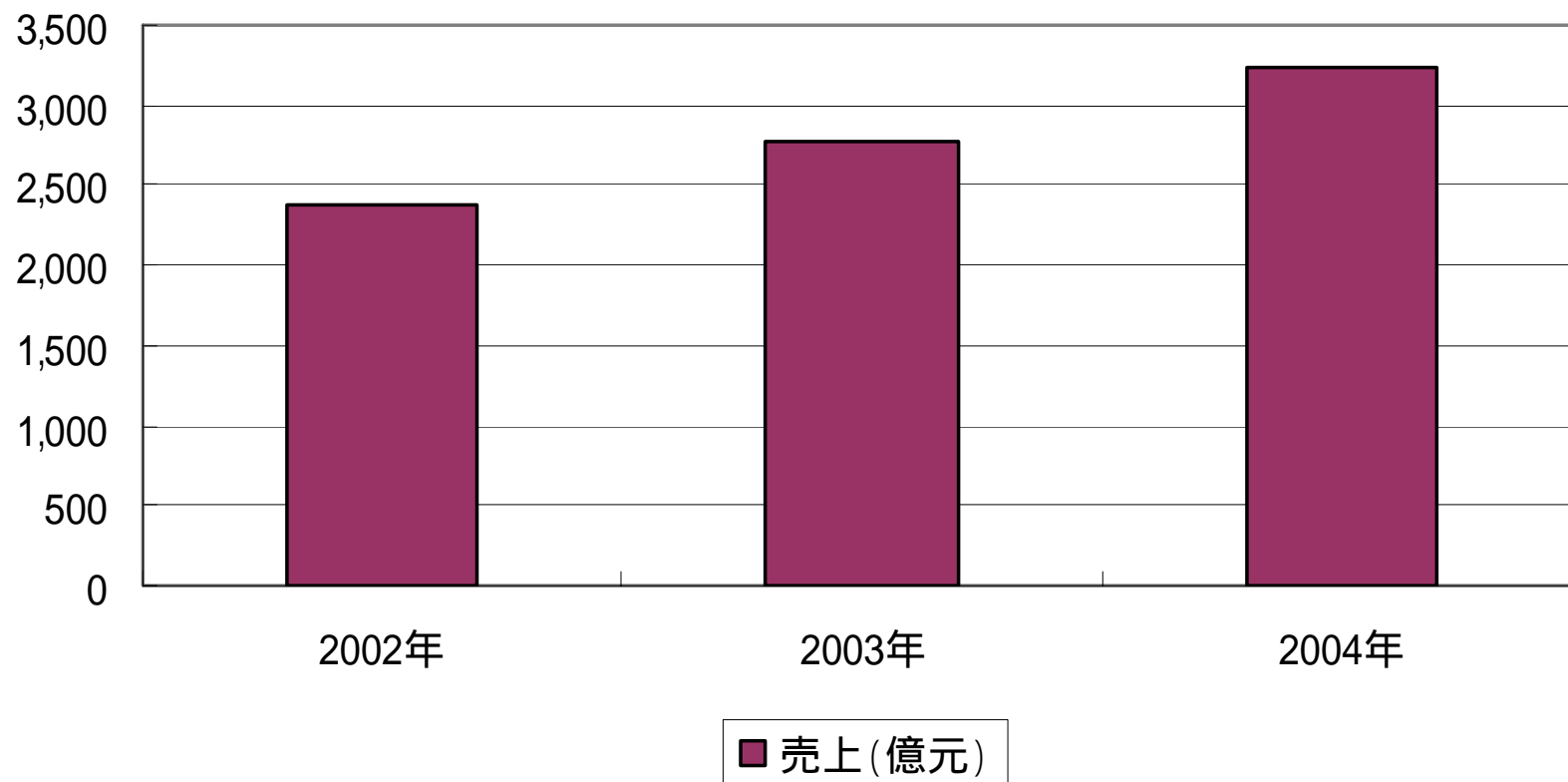
- 中国の概況
- アウトソーシングの概況
- ソフトウェア市場におけるインド・ベトナム・フィリピンとの比較
- 中国ソフトウェアパーク概況
- 各ソフトウェアパークの特徴
- まとめ

中国の概況

人口	・12億9,988万人(2004年末)
GDP	・GDP : 13兆6,525億元(約177兆4,825億円)(2004年) ・GDP成長率 : 9.5%(2004年) ・1人あたりGDP : 1,100ドル(2003年) ・都市と地方の差 : 13倍(上海・貴州省)
基本政策	・第10次五カ年計画(2001~2005年) -年間平均成長率は7%程度を目標 -2020年までに2000年時GDPの4倍増 (約3兆5,797.2億元、約464兆円) ・西部大開発(1999年) ・東北地域等旧工業基地の振興(2002年11月) ・中部振興(2004年3月)
固定電話・ 携帯電話加入者数	・固定電話 : 3億1,244.3万数(2004年) 普及率 24.9% ・携帯電話 : 3億3,482.4万数(2004年) 普及率 25.9%
インターネットユーザ	・9,400万人(2004年) 普及率 7.2%

中国の電子情報製品市場動向

電子情報製品市場(ユーザサイド実際販売収入情況)



出典: CCID/2005.02

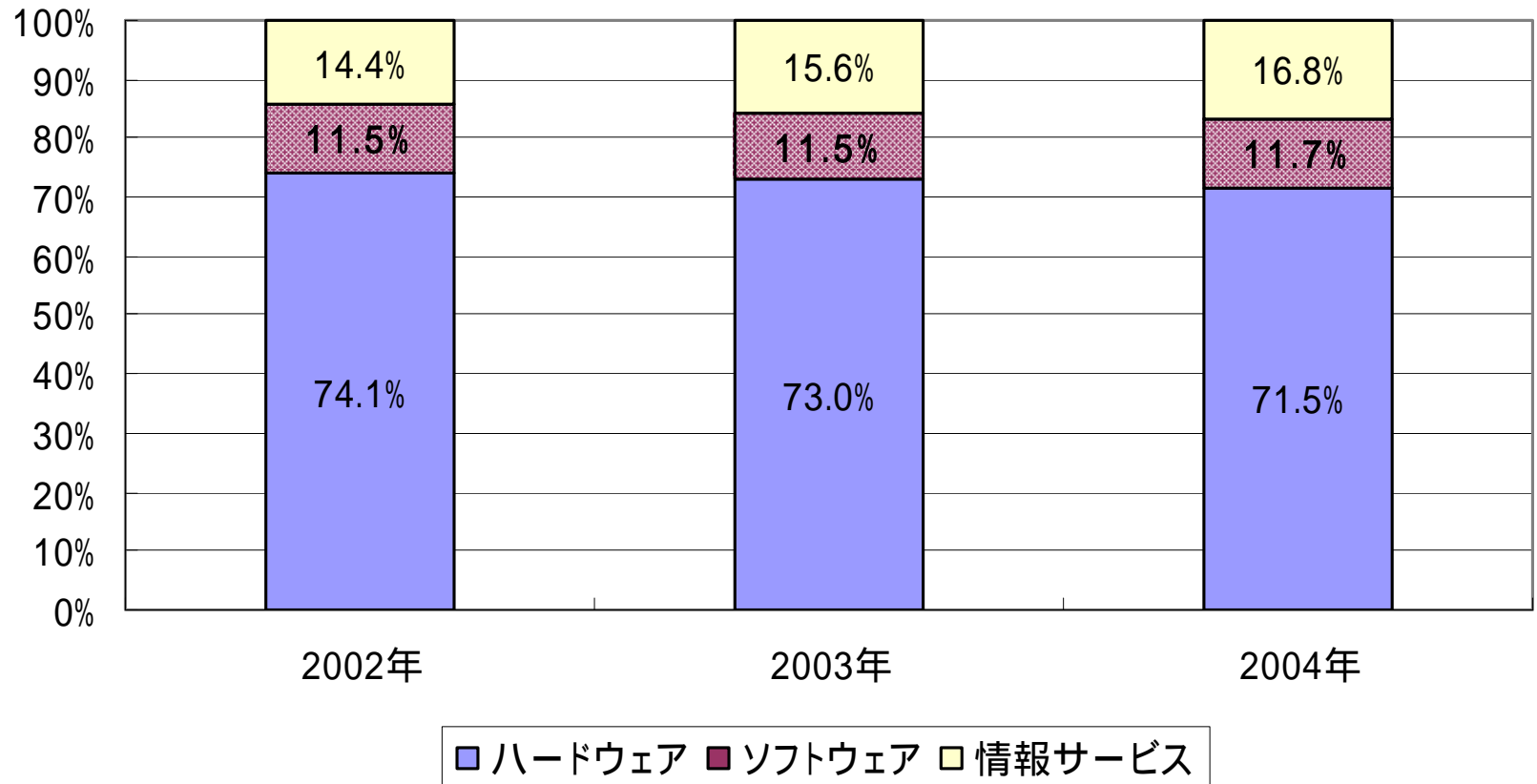
IT産業の内訳(売上と伸び率)

売上(億円)

製品の種類	2002年	2003年	2004年	2003 - 2004年 成長率
ハードウェア	1,603	1,820	2,073	13.9%
ソフトウェア	345	400	479	19.9%
情報サービス	429	544	685	26.0%
合計	2,378	2,764	3,237	17.1%

出典: CCID/2005.02

中国電子情報製品市場製品構造の割合 (2002年-2004年) (ハードウェア、ソフトウェア、情報サービス)



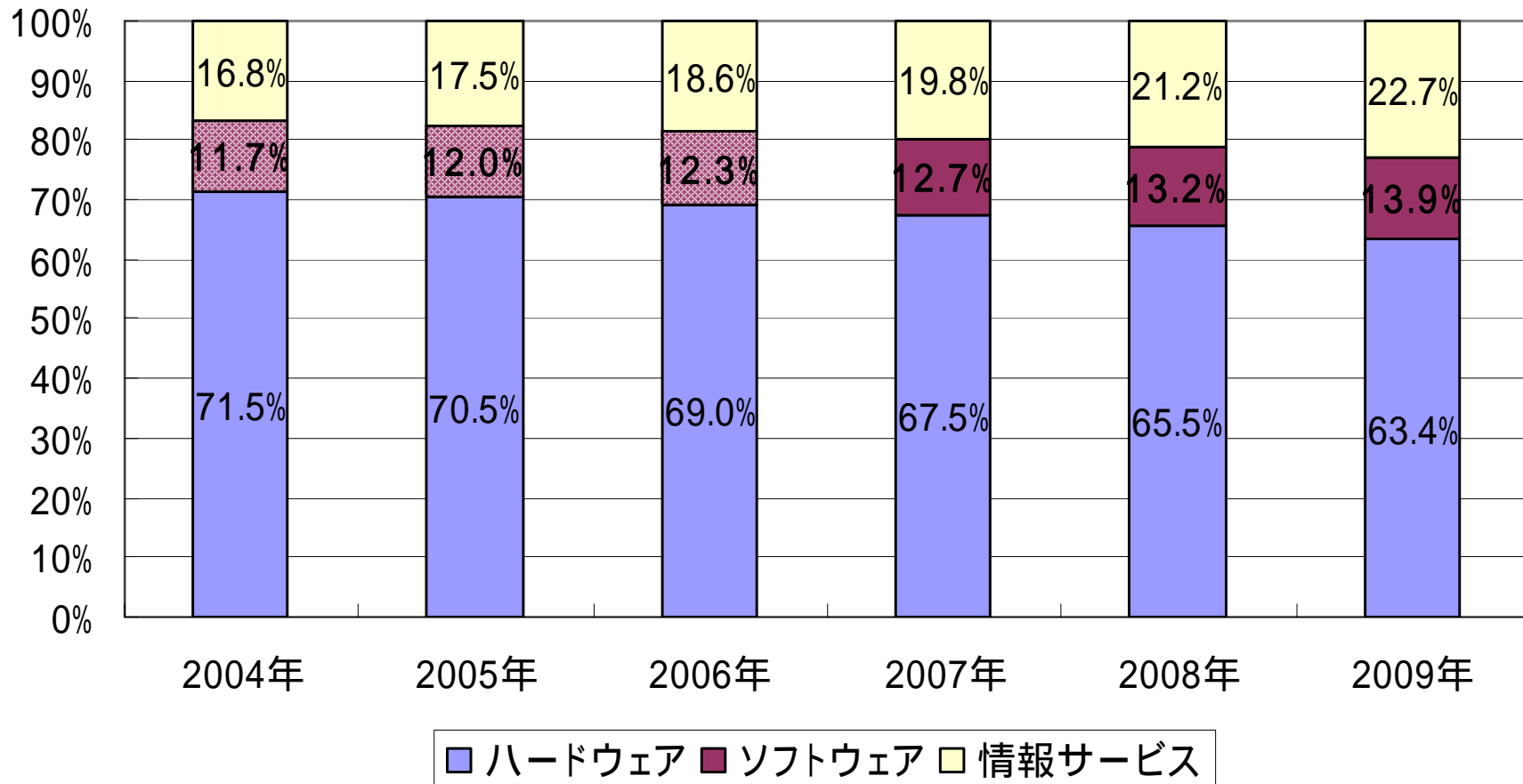
出典: CCID/2005.02

中国電子情報製品市場売上予測 (2005年-2009年)

製品の種類	売上 (億元)						2004- 2009年 年平均 成長率
	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	
ハードウェア	2,918.8	3,447.2	3,975.1	4,535.1	4,982.7	5,391.7	13.1%
ソフトウェア	479.1	586.2	711.2	849.3	1,006.4	1,180.4	19.8%
情報サービス	685.2	853.5	1,073.0	1,329.5	1,614.2	1,926.5	23.0%
合計	4,083.1	4,886.9	5,759.3	6,713.9	7,603.3	8,498.6	15.8%

出典：CCID/2005.02

中国電子情報製品市場製品構造予測 (2004年-2009年)



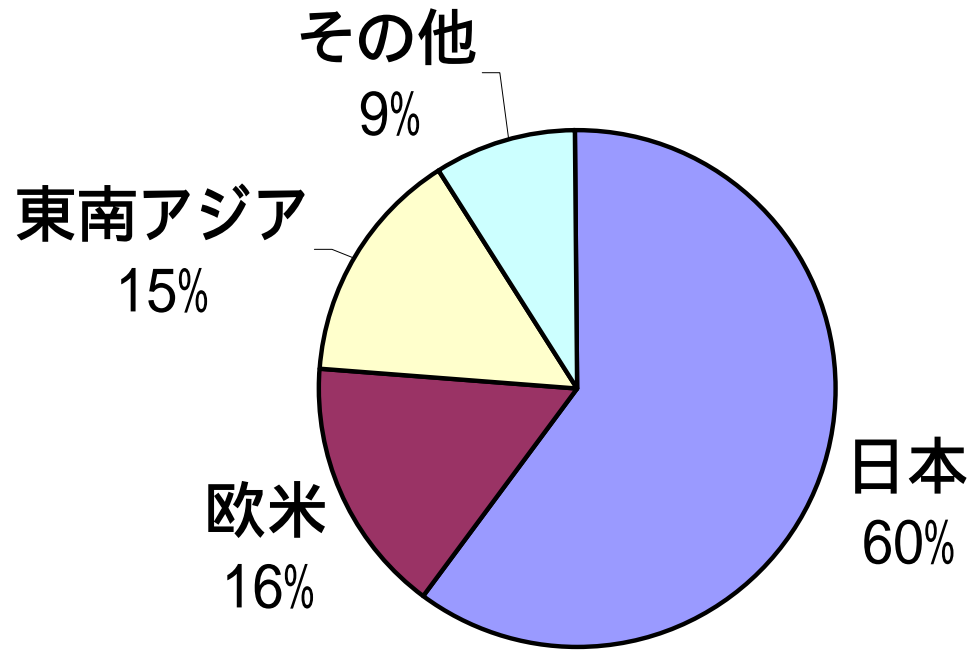
出典: CCID/2005.02

中国のソフトウェア輸出額推移

	売上高 (億元)	成長率	輸出高 (億元)	輸出比率	輸出前年比 成長率
1999年	441.5	27.0%	21.0	4.8%	
2000年	593.0	34.3%	33.0	5.6%	57%
2001年	796.0	34.2%	60.0	7.5%	81%
2002年	1,100.0	38.2%	124.0	11.3%	107%
2003年	1,600.0	45.5%	165.0	10.3%	33%
2004年	2,300.0	43.8%	215.0	9.3%	30%

出典：CSIA/2005

2004年ソフトウェア輸出先比率



アウトソーシングが必要な理由

日本のニーズ

- 国内の人件費/生産性の大幅な改善は期待薄
- 競争激化によるソフトウェアの開発費低減の努力必要
- JAVA、XMLなどの先端技術者要員の恒常的不足



中国・韓国・インド・フィリピン他

- 相対的に廉価な開発ソフト
- 日本語でコミュニケーションできるIT技術者が増加
- オブジェクト指向プログラミングなど先端技術の増加
- ISO9001やCMMなど国際的な技術認証取得による信頼感
- インターネットなど国際分業が可能なビジネス環境、ソフト開発環境

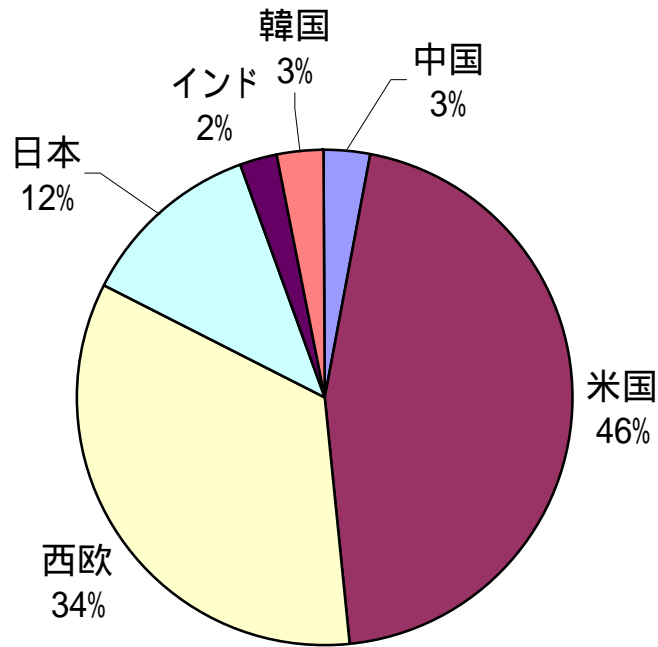
言語によって異なるソフトウェア開発委託先(アジア)

英語ベース : インド、フィリピン、スリランカ、ネパール

日本語ベース: 中国、韓国、台湾、インド、ベトナムなど

出典: TMコンサルティング

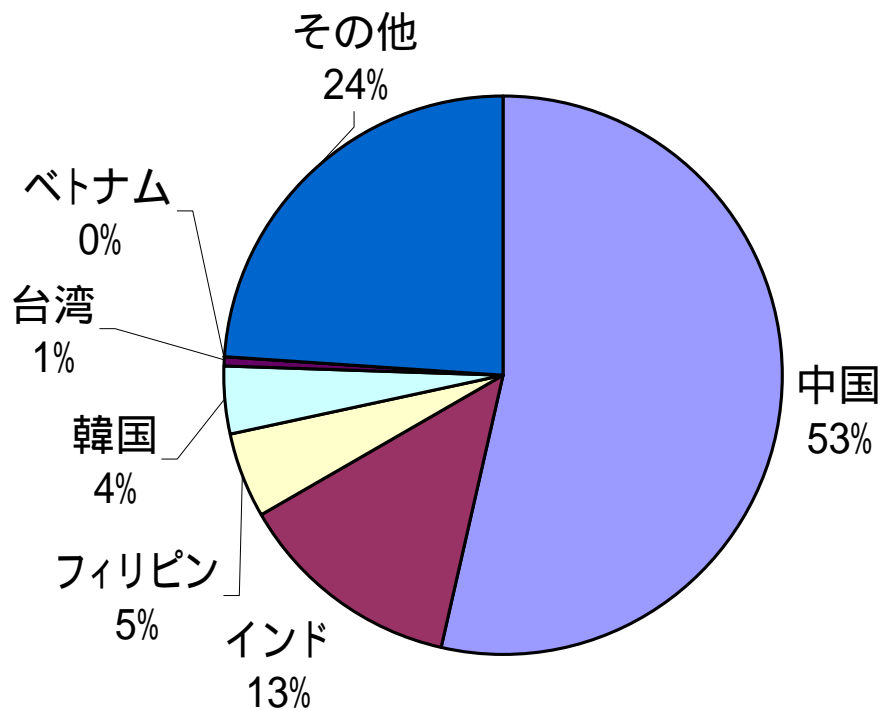
世界主要国のソフトウェア産業規模の比較(2003年)



	億米ドル
中国	193
米国	2,967
西欧	2,248
日本	785
インド	160
韓国	201
世界	7,480

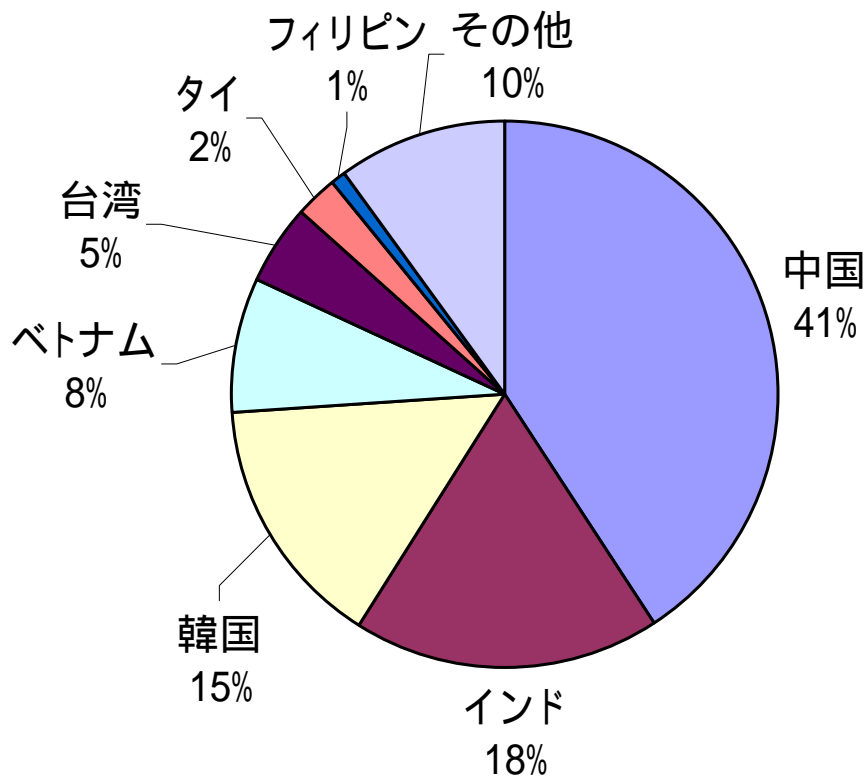
出典: CSIA/2004

日本から海外へのアウトソーシング割合 (アジア地域) (2003年)



出典: JEITA, JISA, JPSA(2004)

今後有望と思われる海外のアウトソーシング国・地域 (アジア地域)



出典: JEITA, JISA, JPSA(2004)

ソフトウェア産業におけるインド・ベトナム・フィリピンとの比較(1)

項目	中国	インド	フィリピン	ベトナム
IT産業・ソフトウェア産業規模				
IT産業規模	4.2兆円 (2004年)	3.1兆円 (2004年度)	2兆円 (2003年)	880億円 (2003年)
ソフトウェア 市場規模	1兆5千億円 (全体の約3割) (前年比20%)	2兆4千億円 (全体の8割弱) (前年比32%)	800億円 (全体の4%) (前年比34%)	131億円 (全体の15%) (前年比140%)
	主要ソフトウェアベンダ5社が全体額の10%以下を占める。	主要ソフトウェアベンダ5社が全体額の4割を占める。	大企業は外資か現地財閥系。現地企業は中小企業が多い。	現地大手はFPT社1社のみ(500名)で、20名の小規模会社が多数。
ソフトウェア輸出割合	約1割	約6割	0.5 ~ 1.8%	25%
対日本輸出比率	60%	4%	米国・欧米が圧倒的。日本は3位。	10% (2010年の目標)

ソフトウェア産業におけるインド・ベトナム・フィリピンとの比較(2)

項目	中国	インド	フィリピン	ベトナム
ソフトウェア企業及びソフトウェアパーク状況				
ソフト会社数	1万社以上	3,300社	600社	570社
ISO/CMM取得状況	CMM 2: 100社 CMM 3: 40社 CMM 4/5: 9社	CMM/CMMIレベル5: 73社	100名規模以上の会社数社のみが取得	CMM取得は5社のみ
ソフトウェアパーク状況	国家級ソフトウェアパークは11箇所、規模を関係なくカウントすると300以上。	政府の35ソフトウェアパーク、民間25ソフトウェアパークがソフトウェア輸出に大きく貢献。	PEZA(フィリピン経済区庁)に登録されたソフトウェアパーク17箇所、108社(うち日系企業は17社)	ハノイやホーチミンシティに相次いでソフトウェアパークを建設。

ソフトウェア産業におけるインド・ベトナム・フィリピンとの比較(3)

項目	中国	インド	フィリピン	ベトナム
IT人材状況				
IT関連学部 卒業生数	60万人 (2003年末)	20万人 (2003年8月)	4万人 (2005年3月)	1～1.3万人 (2001年)
IT関連大学数	400校 (IT学部、2000年)	1000校 (工学部、2003年)	30校 (IT学部、2004年)	9校 (IT学部、2004年)
大学進学率	10%(2000年) 20%(2004年)	5.8%	30%	-
IT技術者数	500万人 (2003年末)	-	16万人 (2005年3月)	-
ソフトウェア 技術者数	72万人 (2004年末)	65万人 (2003年3月)	8万人 (2005年3月)	1万2,000人 (2004年)
給料 (チームリーダーレベルの年給、2003年)				
給料	12,400米ドル	9,700米ドル	7,900米ドル	8,300米ドル
語学力 (注: 日本語は2003年日本語能力検定受験者)				
英語	米国留学組増加	独特のアクセント	米国英語で流暢	聞き取りにくい
日本語	8万3千人	3,800人	966人	2,721人

ソフトウェア産業におけるインド・ベトナム・フィリピンとの比較(4)

項目	中国	インド	フィリピン	ベトナム
特徴	都市によって給料が大幅に異なる。政府認定のソフトウェアパークは11あり、国全体では300ほどあるという。日本語ができるITエンジニアはアジアの他国と比較すると圧倒的。起業精神が旺盛。	CMM5取得のIT企業が多い。インド人は数学と論理思考が得意で、IT技術者も質が高い。英語が得意で欧米向が多いが、最近日本市場もターゲットにしている。高度な技術分野で他国に差をつける。	米国英語と顧客対応のよさにより、コールセンターなどe-Service分野が急成長。フィリピン人は明るく柔軟性があり、発注元が依頼した内容に対し忠実に実行する。高級を求めて、優秀な人材は海外流出多い。	安い労働力で勤勉な国民性、転職率も低い。比較的日本を向いており、官民一体となりアウトソーシング市場を拡大中。一方、人材不足(特に上級技術者)、インフラ未整備が課題。

(参考) アジア各国 月額賃金比較

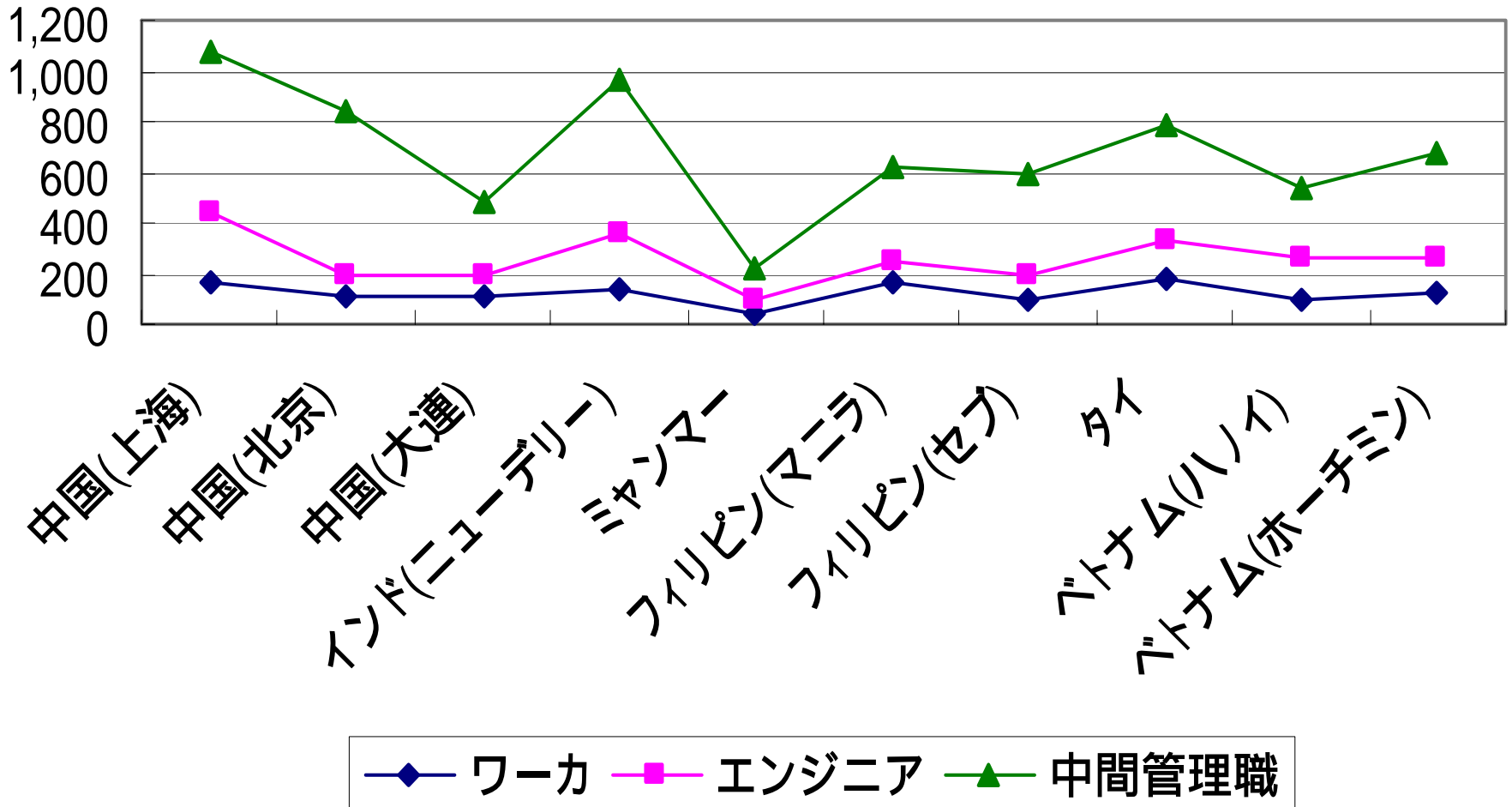
(2003年11月時点)(米ドル/月額)

国・都市	ワーカー (一般工職)	エンジニア (中堅技術者)	中間管理職 (部長クラス)
バングラデッシュ	40	121	360
中国(上海)	109-218	269-601	567-1,574
中国(北京)	79-139	121-266	314-1,382
中国(大連)	96-129	171-224	380-579
インドネシア	133	229	608
インド(ニューデリー)	133-154	317-387	936-989
インド(ムンバイ)	n.a	n.a	n.a
マレーシア	202	684	1,892
ミャンマー	21-50	53-138	168-284
フィリピン(マニラ)	170	255	619
フィリピン(セブ)	98	196	597
シンガポール	432-557	961-1,543	2,215-3,113
スリランカ	52-81	113-158	233-524
タイ	184	327	790
ベトナム(ハノイ)	79-119	171-353	504-580
ベトナム(ホーチミン)	102-138	200-319	611-736

出典: JETRO 『JETROセンサー』2005.4

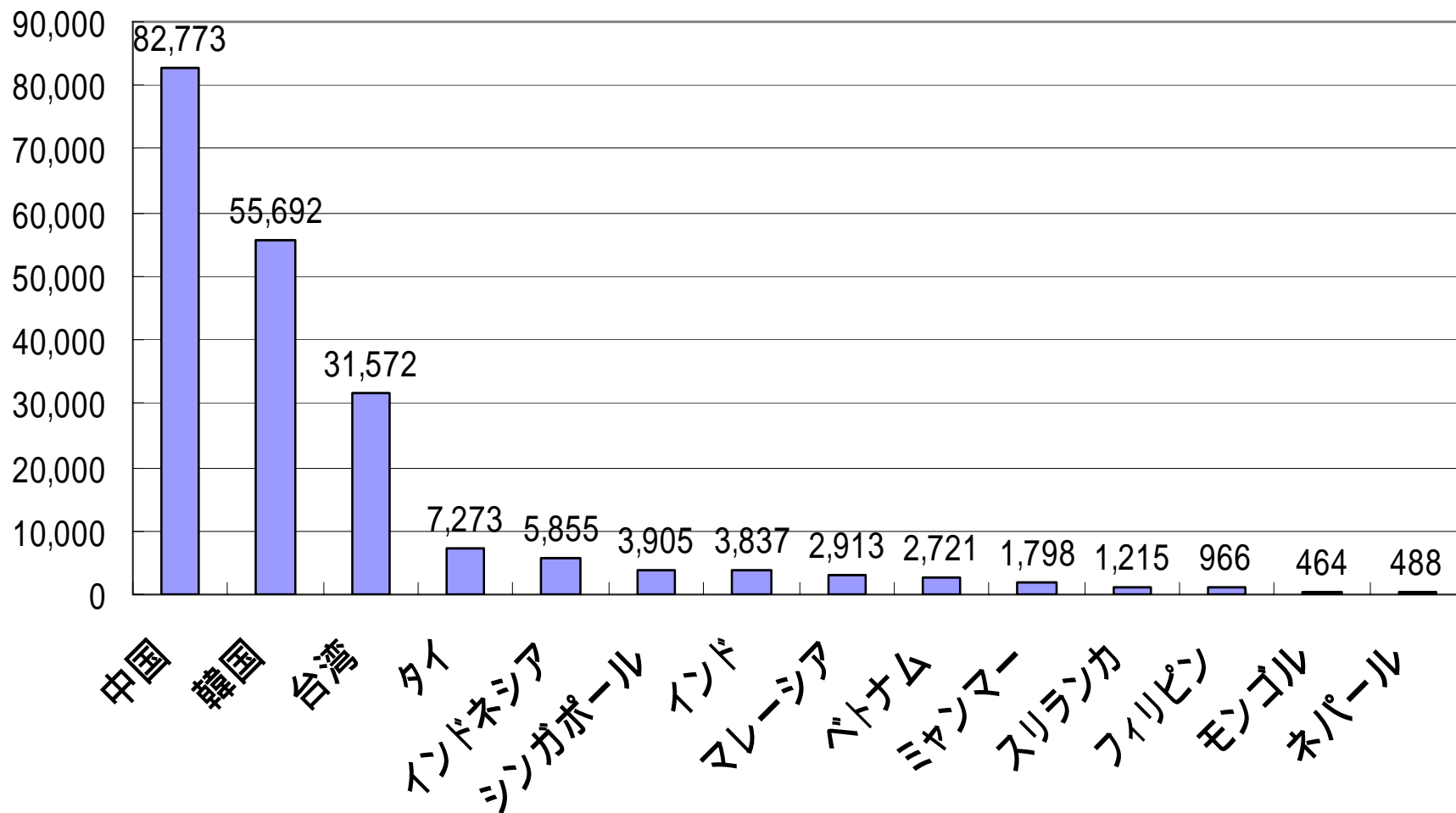
(参考) アジア各国 月額賃金比較 (表)

USD/月



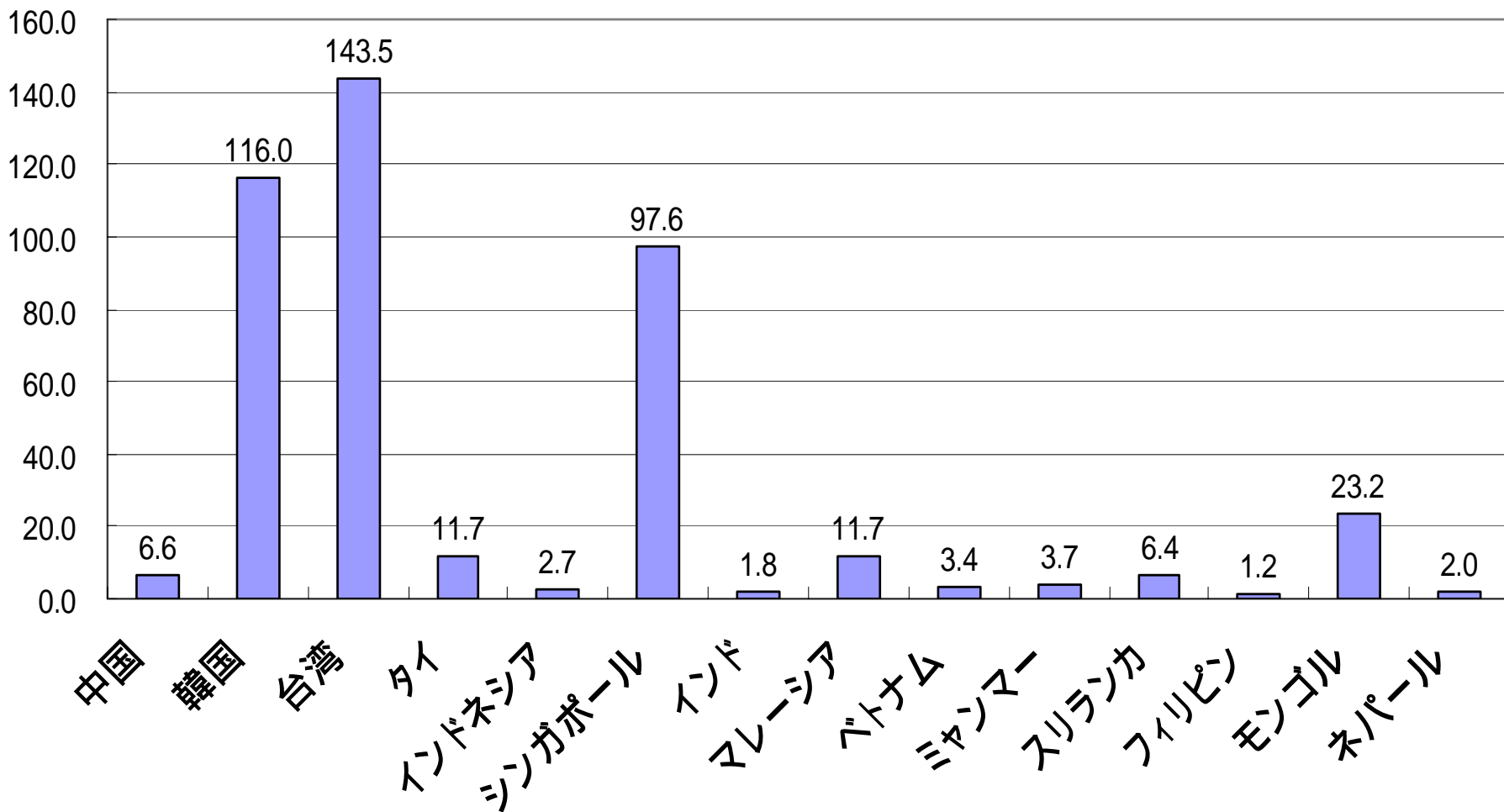
出典: JETRO『JETROセンサー』2005.4

(参考) 平成15年度日本語能力検定、各国受験者 (1級～4級合計)



出典：国際交流基金資料を基に筆者が作成。

(参考)平成15年度 10万人あたり日本語能力試験受験者数 (1級～4級合計)



出典: 国際交流基金資料を基に筆者が作成。

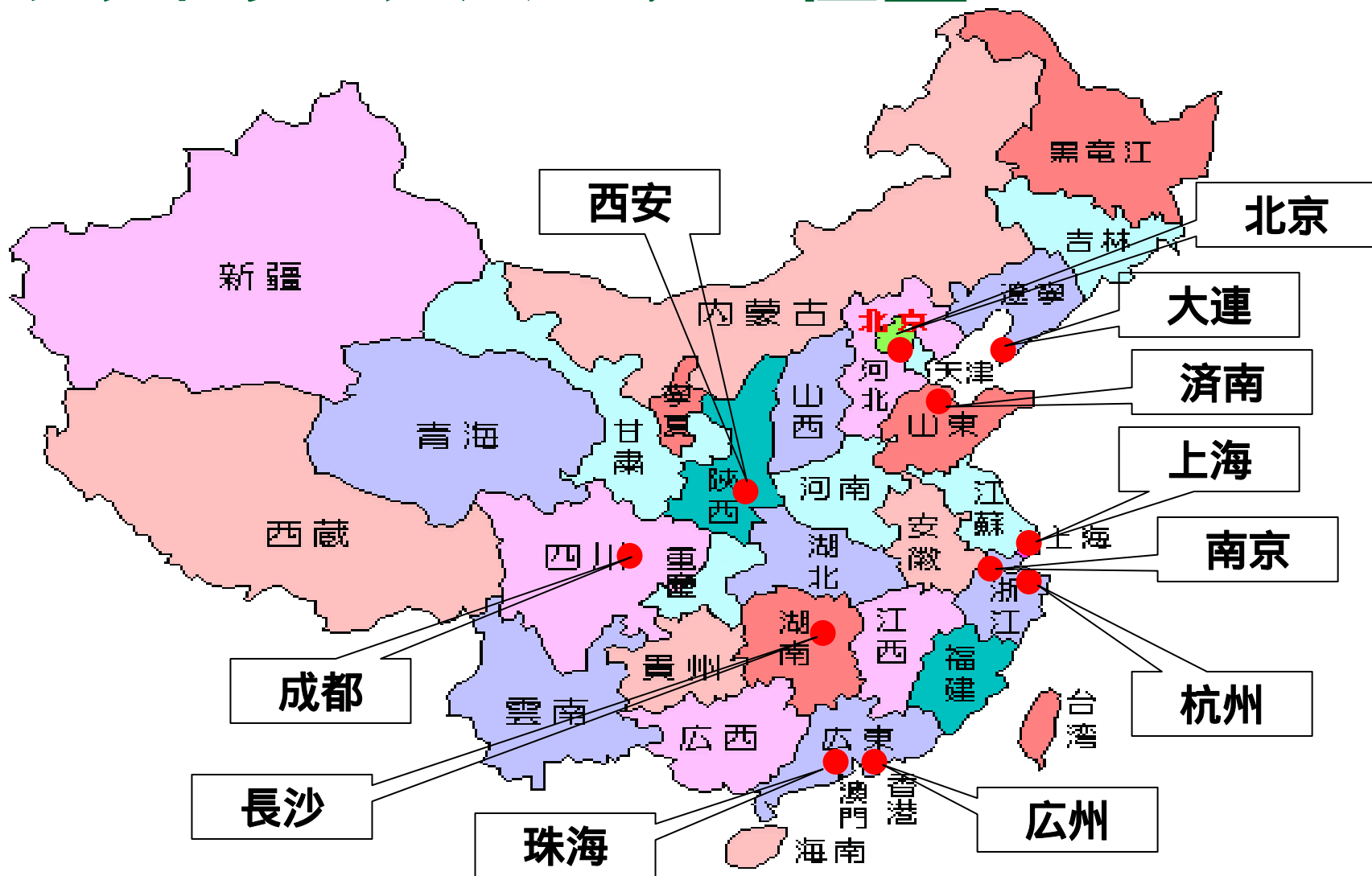
中国のソフトウェア振興及びソフトウェアパークの流れ(政策)

1988年8月	<u>「たいまつ(火炬)計画」</u> ハイテク分野産業化推進(国家級ハイテク産業開発区の設置)
1990年代始め	曾培炎情報産業部副部長がソフトウェアパーク設立方針
1992年	中国3大ソフトウェア産業拠点(北京、上海浦東、珠海)設置決定
2000年6月	<u>「ソフトウェア産業及びIC産業発展の奨励に関する若干の規定」(18号文件)</u> : 2010年までにソフトウェア産業の研究開発及び生産能力が先進国レベルに達することを目標。
2002年11月	<u>「ソフトウェア産業振興アクションプラン(2002-2005年)」(47号文献)</u> : 政府調達における国産ソフトウェアの優遇政策を明確に打ち出す。

ソフトウェアパークの現状

- ソフトウェアパークの数：
22箇所(「たいまつ(火炬)計画」で認定)
11箇所(2001年7月、情報産業部が国家級と認定)
北京、上海、大連、成都、西安、済南、杭州、広州、長沙、南京、珠海
- 総売上高：886.86億元(2002年)
ソフトウェア売上高：808.67億元(全国売上高占有率：73.5%)
輸出額：4.5億米ドル
- ソフトウェア企業数：5,777社(中国全土：1万社以上)
- 従業員：18.5万

ソフトウェアパークの位置



出典: 中国情報局

ソフトウェアパークの運営体制

1) 政府中心の運営 :

ハイテク開発区に属し、地方政府が直接運営
西安、済南、広州、長沙

2) 国営企業が運営 :

政府の機能を保持しながらも企業として財務のバランスを
とり運営
上海、珠海、杭州、成都

3) 民間企業が運営 :

完全なビジネスとして利益追求型の運営
大連、北京、南京

ソフトウェアパーク運営組織

名称	運営母体及びURL	
1) 政府中心の運営		
西安軟件園	西安軟件園管理弁公室	http://www.xasoftpark.com
齊魯軟件園	齊魯軟件園發展中心	http://www.qilusoft.org
広州天河軟件園	天河軟件園管委會	http://www.thstp.com
長沙軟件園	長沙開發区	http://www.cnsia.com
2) 国営企業が運営		
上海浦東軟件園	上海浦東軟件園發展公司	http://www.spsp.com.cn
西部軟件園	成都西部軟件園股分有限公司	
杭州高新軟件園	杭州高新区管委會 株式会社による運営する予定であり、現在投資企業募集中	http://cn.hhhsoft.com
珠海南方軟件園	南方軟件園發展有限公司	http://www.china-ssp.com
3) 民間企業が運営		
北京中関村	北京中関村軟件園發展有限責任公司	http://www.softwarecampus.com.cn
大連軟件園	大連軟件園股分有限公司	http://www.dlsp.com.cn
江蘇南京軟件園	江蘇省軟件産業股分有限公司	http://www.njswp.com.cn

ソフトウェアパークのタイプ

1) 国内市場型: 北京・上海・広州

北京は政府のニーズが高く大型案件多く、中央政府市場の位置づけ。
上海・広州は企業のニーズが高く、大手製造業の集中地。
優秀な人材多いが、コスト高で競争も厳しく、流動性も高い。

2) 加工輸出型: 大連・珠海

省政府の所在地から離れているが、より柔軟な優遇政策を実施。
比較的人件費も安く環境もよい。大連は日本・欧米向けソフトウェア開発。

3) 内需加工型: 済南、長沙

市場規模は大きくないが、浪潮(済南)と創智(長沙)の2大企業が牽引役となり多くの関連企業が集まる。地方政府も積極的に企業を誘致。
人件費も安く、人材流動性も低い。

4) 局部市場型: 杭州・西安・南京

従来工業基盤が比較的安定しているため、既存の電子工業向け開発が多い。近年は海外の大手企業の進出、内外企業の提携も。

ソフトウェアパークの優遇政策

< 1 . 国の政策 > : 全てのソフトウェア企業に適応

納税優遇政策

- ・2010年末までは17%の付加価値税から14%が返還
- ・企業所得税が2年間免除、3年目は50%が免除
- ・輸入した自社用設備及び技術は関税と輸入環節付加価値税が免除
- ・ソフトウェア企業の社員賃金及び養成費用は企業所得税の控除対象
- ・「政府認定の中国国家重点ソフトウェア企業」(毎年更新、2003年は172社)は毎年の所得税税率を10%優遇

この他、投資・融資優遇政策、輸出関連優遇政策、収入分配政策、人材政策、その他の政策あり。

< 2 . 地方或いはソフトウェアパーク独自の優遇政策 > : 各々異なる

各ソフトウェアパーク独自のサービス

サービス項目	北京	上海	広州	南京	済南	大連	西安	杭州	珠海	長沙
入居企業従業員の育成										
電子商取引プラットフォームウェブサイト										
ソフトウェア企業認定の申請代行										
国家ソフトウェア検査測定実験室										
ソフトウェア開発総合開発実験室										
パーク内企業の内外展示会参加特典										
基地内企業の定期交流会										
入居企業へのビジネス情報の提供										
企業登録業務、外貨管理などサービス提供										
従業員生活情報の提供										
企業コンサルティングサービス提供										
政府政策情報の提供及びコンサルティング										

各都市の給与体系(大卒初任給)

都市名	給料(元・円)
上海・北京・広州	2,000元(28,000円)
大連	1,650元(23,100円)
南京	1,500元(21,000円)
長沙・珠海・西安・杭州	1,300元(18,200円)
済南	900元(12,600円)

出典:各ソフトウェアパークヒアリング

成田からのフライト

都市名	直行便・経由	時間
上海	あり	2時間35分
大連	あり	2時間40分
広州	あり	3時間
北京	あり	3時間15分
杭州	あり	3時間40分
西安	あり(週2便)	6時間(成田 西安)
濟南	なし(北京経由等)	3時間15分(成田 北京)
		1時間(北京 濟南)
南京	なし(北京経由等)	3時間15分(成田 北京)
		1時間30分(北京 南京)
長沙	なし(北京経由等)	3時間15分(成田 北京)
		2時間(北京 長沙)
珠海	なし(北京経由等)	2時間35分(成田 上海)
		2時間(上海 珠海)

大連ソフトウェアパーク(1)

ソフトウェア生産高・輸出高	輸出先	地方優遇策
ソフトウェア生産高: 大連市全体: 46億7千萬元	対日業務: 全体の52%	利益が発生した年から2年間の企業所得税免除、3年間半減の所得税率
ソフトウェア輸出高: 大連市全体: 1億1300万米ドル 大連ソフトウェアパーク内: 4500万米ドル(全輸出の40%)	製品内訳: 委託開発を中心としたアプリケーションソフト製品(60%)、家電・通信組込みソフト(20%)、コールセンタなどの情報サービス関連(20%)	製品の輸出額が全売上の70%を超える企業は企業所得税10%(通常は33%) ソフトウェア製品の増値税は法定の17%で徴収し、3%超過部分は後日還付 輸出の際、増値税と輸出関税が免税 大学学歴以上の新卒者採用の際、大連市の戸籍を付与。他都市から35歳以下のエンジニア、マネージャ採用の際、本人と家族に大連の戸籍を付与。 ソフトウェア設立や輸出に関する手続き無償で代行。

大連ソフトウェアパーク(2)

入居企業数	主な企業と従事分野
<p>大連市全体： 358社、外資系25% ソフトウェアパーク内： 180社、外資系30%以上 対日ソフトウェア企業： 70社程度</p>	<p>フォーチュン500に入る外資系企業が19社。 日系企業：松下通信、ソニー、オムロン、アルパイン、東芝、三菱、NEC、日立造船、リコー。殆どが自社または自社グループ会社のソフトウェアオフショア開発業務。 米国：GEキャピタル(コールセンタ業務と事務処理業務のアジア最大のサポートセンタ)、アクセンチュアとIBM(BPO業務以外、ほとんどが日本国内からのソフトウェア開発業務)、デルコンピュータ 中国：大連華信計算機有限公司(ソフトウェア輸出中国1位。NEC・NTTデータの資本)、大連アルパイン電子有限公司</p>

大連ソフトウェアパーク(3)

技術者数・技術者単価	付近のIT学部のある大学の数・IT訓練機関	パークの人材育成状況
<p>技術者数(大連市全体): 1万5400人 単価: 1500元 ~ 1800元 (大学初任給)</p> <p>日本向け人材: 大連市政府として日本向け人材育成に注力。一方、特に高級技術者不足。一般プログラマとオペレータはあふれている。</p>	<p>8大学: 大連理工大学、大連鉄道学院、大連海事大学など。いずれもコンピュータ専攻の学科があり、日本語強化教育に注力。</p> <p>300近くの研究機関</p> <p>240民間各種IT教育機関: 日本語コース専門の民間学校、夜間学校も多数あり。</p>	<p>東軟情報技術学院: 2000年設立、2004年在校生は6500人、最終目標は1万人。</p> <p>東軟日本語IT訓練センタ: 2003年3月、中国東軟集団と東芝が設立。</p> <p>大連華信計算機新技術訓練センタ: 2003年8月、大連華信計算機技術有限公司と日立システムアンドサービスが設立。</p> <p>日本SAP社: アジア訓練センタ</p> <p>日本友好大連人材育成センタ: 日本政府による10億円無償援助(ODA)。2006年建設完了予定、毎年3000人の日本語人材育成。</p>

大連ソフトウェアパーク(4)

< 特徴 >

■ 産官民一体の推進体制:

政府が土地と政策、大連の民間企業が資本投入(200万元以上)。中国全土に先駆けて大連市政府から一部専用資金を出してソフトウェア企業を育成。政府が民間に対しCMMレベル取得を促進・支援。

■ 国からの認定:

1999年: 国家たいまつ計画ソフトウェア産業基地

2002年: 国家ソフトウェア産業基地、ソフトウェア産業国際化モデル都市

2003年: 国家ソフトウェア製品輸出基地

2003年9月: 中国国際ソフトウェアと情報サービス交易大会開催

■ 気候:

四季があり、緑が多く、食べ物美味しい。日本の生活環境と似て、親日。

■ 課題:

日系企業の集中による日本語の話せる高級人材不足。

上海・浦東ソフトウェアパーク(1)

- **ソフトウェア売上高**: 100億元 (2004年、ソフトウェアパーク内)
- **ソフトウェア輸出高**: 9,200万ドル (2004年、ソフトウェアパーク内)
- **輸出先**: 欧米がほとんど、次いで西欧、日本の順。
- **地方優遇策**:
企業の税引き後利益を上海市ソフトウェア企業に投資可能。契約期限が5年以上の場合、企業所得税を政府が補助
- **入居企業数**: 上海パーク全体: 700社
浦東軟件園: 2003年230社、2004年375社。
- **主な企業と従事分野**: マイクロソフト、IBM、HP、インテル、Sun、UTスターコム、SAP、インドTATA、ソニー、京セラなど。特にSAPの関連企業の入園数が増加。アウトソーシングが主体で欧米向け。日系企業の入園企業数は欧米より多いが、小規模事業のケースが大半。
- **設備状況**: パークが提供するサービス・設備・環境・経験ともに群を抜いて完備。

上海・浦東ソフトウェアパーク(2)

- **技術者数**: 1万5千人(英語が主流だが、日本語人口も2 - 3割)
- **技術者単価**: 2000元 ~ (初任給)。5年目で5000元程度。転職率高い。
- **付近の大学**: 復旦大学・上海交通大学・同済 大学など優秀な大学が多い。
- **人材の特徴**:
人件費は高く、人材流動率も高い。技術力の高さ、高級人材の豊富さから、製品の高品質化、最先端技術での事業展開が行なえる。
- **利点と課題**:
優秀な人材が集まり、中～高管理者が充実している。生活環境も良く、外資系企業高級管理者は来たがる。大企業にとって上海は非常に魅力的。政府のニーズの大きい北京と比べ、上海は企業ニーズが多い。
一方、人材流動率も高く、日本語話せる人材不足。

北京・中関村ソフトウェアパーク(1)

- **ソフトウェア生産高**:北京市全体 385.3億元
- **ソフトウェア輸出高**:北京市全体 13,800億米ドル
- **ソフトウェア企業**: 北京市全体 5,000社(うち1,700社が政府認定)。
- **輸出先**:日本向け輸出 北京全体の70%。
- **地方優遇策**:増値税6%減税(自主開発ソフト製品を販売する場合)
- **入居企業数**:65社(2004年7月現在)
第1期工事は2000年着工、2006年完成予定で工事中の設備・建物が目立つ。
- **主な企業と従事分野**:
シーメンス(120名。電子商取引プラットフォーム、コンサルタントサービス)、
オラクル(400名。モバイル通信開発)
東軟北京ソリューション検証・評価センタ
北京漢王科技有限公司(600名、画像・漢字認識システム、OAソフト開発)
IBM、HP(入居予定)

北京・中関村ソフトウェアパーク(2)

- **技術者数**: 現在、約1万人。日本語技術者の養成に注力。
- **技術者単価**: 2000元/月(新卒)
- **付近のIT学部のある大学の数**:
大学が集中する中関村に隣接。ソフトウェアパークは各会社のリクエストに応じて紹介することが可能。
- **パークの人材育成状況**:
パークとして3ヶ月の新入社員基礎教育コースの提供。
- **利点と課題**:
優秀な人材豊富でネームバリューも高い。一方、人道流動率も高い。

済南ソフトウェアパーク

- **ソフトウェア売上高・輸出高:** 山東省:60億元、うち済南市60%
- **地方優遇策:**企業所得税・営業税・増値税:5年間全額免除、その後5年間50%免除。
- **入居企業数:** 247社(2004年)
- **主な企業と従事分野:**
浪潮(ソフトウェア独自開発6位。サーバ分野1位)など中国ソフト基幹企業10社中心
- **人材育成:**
山東大学の齊魯軟件学院と提携、入居企業のニーズに応じて人材育成を行う。
大卒初任給:800~1000元。2-3年間、2000元。人材流動率5%(北京23.1%、上海 18.2%)
人材確保のため地方政府がスキームを構築・実施中、今後3年間で毎年1000万元を投入。
2007年までに5555計画。1)日本向け受託開発エンジニア5000名育成、日本向け受託会社が50社以上、500人規模の受会社が5社以上、有名な日本企業5社以上誘致という目標。
- **特徴:**
安い人件費と低い人材流動率が売りだが、高級人材確保が最大の課題。
地場企業20社による「国際合作連盟」を設立。日本支社を設立。

まとめ

- 豊富な日本語人材、日本とのビジネス経験、優遇政策、環境、親日度などの観点から、日本からのオフショア開発は、中国・大連に優位性がある。
一方、大連では日本とのビジネスの急速な拡大により、特に中～高級技術者の不足が指摘されている。
- 反日デモなど不安定な政治が課題。リスク分散の必要も。
- 発注元企業の規模・目的・発注内容・使用言語などに応じて、自分の目で確認し、発注先を選定すべき。
- 各ソフトウェアパークの写真(ご参考)

CICCの活動

- アジアオープンソースソフトウェアシンポジウム
(9月6 - 8日、スリランカ・コロンボ)
- 情報化協力ミッション(10月17日、フィリピン・マニラ) &
情報化技術フォーラム(10月19 - 20日、フィリピン・セブ)
- アジア情報化レポート(アジア16カ国、アウトソーシング等)

ご清聴ありがとうございました

(財)国際情報化協力センター
浅井 知子

<http://www.cicc.or.jp/>
E-mail: asai@net.cicc.or.jp